

国語プリントNo.)

(

配布日 月 日 曜

年 組 番 名前

母子猿 口語訳



- (1) 豊前の国の住人で／太郎入道という者が／いたそうだ。／
- (2) まだ出家していなかった頃、／いつも猿を射たそうだ。／
- (3) ある日山を歩いていた時に、／大猿がいたので、／木に追いつめ登らせて／矢を射たところ、／ねらったとおりに／木のまたで射止めてしまったそうだ。／
- (4) 今にも猿が落ちそうになったところ、／何であろうかある物を／
- 木のまたに置くようにするのを見てみると、／何とまあ子猿であったそうだ。／
- (5) 自分が傷を負って／地上に落ちそうになるので、／
- 子猿を、その背負っていた子猿を／助けようとして、／
- 木のまたに置こうとしているのだった。
- (6) 子猿はまた、／母親にすがりついて／離れまいとしていた。／
- (7) このように何回もするのだけれども、／なおも子猿がすがりついたので、／
- 親子ともども一緒に／地に落ちてしまった。／
- (8) それよりずっと、／猿を射ることを／やめてしまったそうだ。

太郎は何のために猿を射ていたのか。
大猿はどうして子猿を木のまたに置こうとしていたのか。
子猿はどうして大猿にしがみついていたのか。
太郎はどうして猿を射るのをやめてしまったのか。